

## 第2章 世帯と住居

### 1 世帯人員別一般世帯（表1、図1・2参照）

平成17年10月1日に実施された国勢調査の結果から施設等（入院患者・学校の寄宿者等）の入居者を除く一般世帯の数値に関して掲載します。

一般世帯数は179,030世帯、世帯人員は429,845人となっています。

一世帯当たりの人員は2.40人となっており、昭和30年から調査の度に減少して昭和60年からは3人を割り込み、2人世帯に近づいています。

一般世帯を世帯人員別にみると1人世帯が55,722世帯(31.1%)で最も

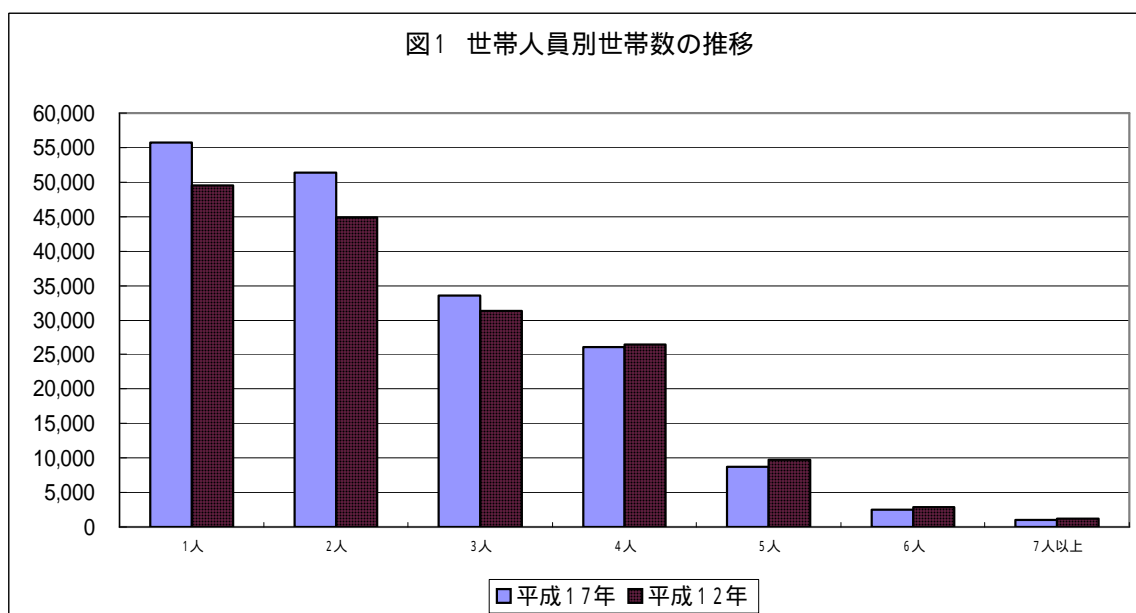


表1 世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員

	総数		一般世帯 総数	世帯人員 が 1人	2人	3人	4人	5人 以上	一般世帯 人員	一世帯 当たり 人員	(再掲) 間借・ 下宿 などの 単身者	(再掲) 会社など の 独身寮の 単身者
	人口	世帯数										
平成17年	442,699	179,636	179,030	55,722	51,366	33,604	26,027	12,311	429,845	2.40	1,148	1,873
構成比	-	-	100.0	31.1	28.7	18.8	14.5	6.9	-	-	0.6	1.0
平成12年	423,167	166,391	165,975	49,518	44,898	31,361	26,388	13,810	413,590	2.49	1,615	2,713
構成比	-	-	100.0	29.8	27.1	18.9	15.9	8.3	-	-	1.0	1.6
増減数	19,532	13,245	13,055	6,204	6,468	2,243	361	1,499	16,255	0.09	467	840
増減割合	-	-	-	1.3	1.6	0.1	1.4	1.4	-	-	0.4	0.6

多く、世帯人員が増えるにつれて構成比は減少しています。前回調査（平成12年）と比較すると1人世帯が1.3ポイント、2人世帯が1.6ポイント上昇している反面、3人以上の世帯は減少となっています。1, 2人世帯の構成比は前回調査では56.9%だったのが、平成17年では59.8%と調査の度に増加しています。世帯がさらに小規模化していることがうかがえます。

## 2 家族類型別一般世帯（表2、図3参照）

一般世帯を家族分類でみると、世帯人員が2人以上であって世帯主とその親族が同居している「親族世帯」は122,561世帯、「非親族世帯」は

図2 一般世帯の世帯人員構成

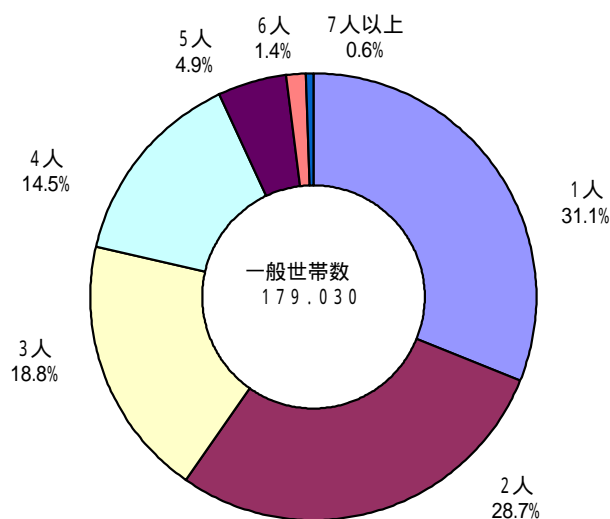


図3 世帯の家族類型別構成比率

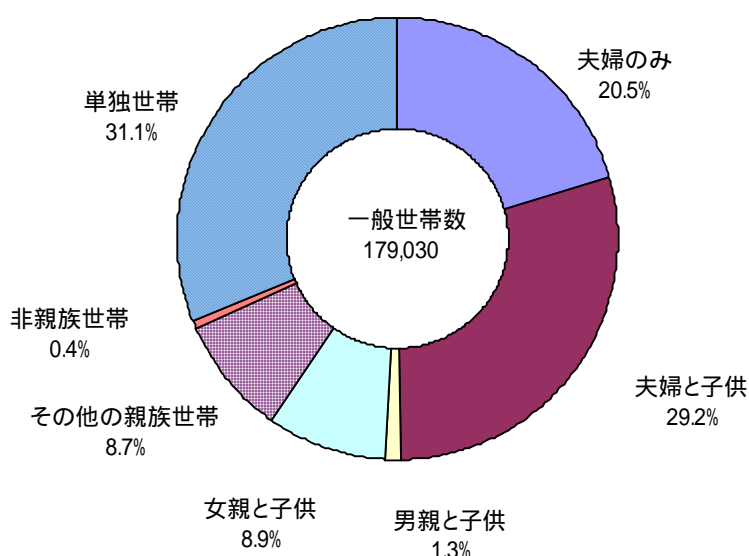


表2 世帯の家族類型別(16区分)一般世帯数及び一般世帯人員

	総数	親族世帯						親族世帯			
		核家族世帯						その他の親族世帯			
		総数	夫婦のみ の世帯	夫婦と 子供から 成る世帯	男親と 子供から 成る世帯	女親と 子供から 成る世帯	総数	夫婦と 両親か ら成る 世帯	夫婦と 片親か ら成る 世帯		
平成17年	一般世帯数 (構成比)	179,030 100.0	122,561 68.5	107,061 59.8	36,707 20.5	52,210 29.2	2,249 1.3	15,895 8.9	15,500 8.7	408 0.2	1,956 1.1
17年	一般世帯人員 (構成比)	429,845 100.0	372,614 86.7	307,974 71.6	73,455 17.1	190,871 44.4	5,371 1.2	38,277 8.9	64,640 15.0	1,632 0.4	5,874 1.4
	1世帯当たりの人員	2.40	3.04	2.88	2.00	3.66	2.39	2.41	4.17	4.00	3.00
平成12年	一般世帯数 (構成比)	165,975 100.0	115,930 69.8	100,896 60.8	32,695 19.7	52,890 31.9	1,854 1.1	13,457 8.1	15,034 9.1	346 0.2	1,705 1.0
12年	一般世帯人員 (構成比)	413,590 100.0	363,015 87.8	298,121 72.1	65,454 15.8	195,610 47.3	4,434 1.1	32,623 7.9	64,894 15.7	1,384 0.3	5,119 1.2
	1世帯当たりの人員	2.49	3.13	2.95	2.00	3.70	2.37	2.42	4.31	4.00	3.00

表2 世帯の家族類型別(16区分)一般世帯数及び一般世帯人員(続き)

	親族世帯									非親族 世帯	単独 世帯
	その他の親族世帯										
	夫婦 子供と 両親か ら成る 世帯	夫婦 子供と 片親か ら成る 世帯	夫婦と 他の親族 から 成る世帯	夫婦 子供と 他の親族 から成る 世帯	夫婦 親と 他の親族 から成る 世帯	夫婦 子供 親と 他の親族 から成る 世帯	兄弟 姉妹 のみか ら成る 世帯	他に 分類さ れない 親族 世帯			
平成17年	一般世帯数 (構成比)	1,604 0.9	4,490 2.5	552 0.3	1,490 0.8	196 0.1	770 0.4	1,435 0.8	2,599 1.5	747 0.4	55,722 31.1
17年	一般世帯人員 (構成比)	9,602 2.2	21,183 4.9	1,769 0.4	6,980 1.6	924 0.2	5,034 1.2	3,046 0.7	8,596 2.0	1,509 0.4	55,722 13.0
	1世帯当たりの人員	5.99	4.72	3.20	4.68	4.71	6.54	2.12	3.31	2.02	1.00
平成12年	一般世帯数 (構成比)	1,852 1.1	5,097 3.1	483 0.3	1,245 0.8	177 0.1	704 0.4	1,270 0.8	2,155 1.3	527 0.3	49,518 29.8
12年	一般世帯人員 (構成比)	11,200 2.7	24,471 5.9	1,565 0.4	5,843 1.4	820 0.2	4,625 1.1	2,677 0.6	7,190 1.7	1,057 0.3	49,518 12.0
	1世帯当たりの人員	6.04	4.80	3.23	4.69	4.63	6.56	2.10	3.33	2.00	1.00

747世帯、世帯人員が1人である「単独世帯」は55,722世帯となっています。

家族構成をみると、「核家族世帯」が最も多く、次が「単独世帯」となっています。この家族構成比率の変化を前回調査と比較すると「核家族」と「その他の親族世帯」の減少と単独世帯の増加傾向がみられます。仮に核家族世帯と単独世帯を併せたものを核家族的世帯とすれば、この5年間に核家族的世帯化が進展しているということになります。また、家族構成を前回調査と比較すると「夫婦のみの世帯」が0.8ポイント増加しているのに対し、「夫婦と子供から成る世帯」は2.7ポイント減少しており、家族構成が「親子中心の家族」から「夫婦中心の家族」へ変化していることがうかがえます。

### 3 高齢者がいる世帯（表3・5参照）

65歳以上の単身者数は18,424人となっており、全単身者の約33.1%を占めています。男女別にみると女性が79.0%を占めています。これは女性の平均寿命が男性より長いことによるものと思われます。

表3 年齢(5歳階級)、男女別高齢単身者数

	総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	(別掲) 60歳以上
65歳以上の単身者数	18,424	3,771	4,481	4,604	3,428	2,140	21,954
平 (構成比)	100.0	20.5	24.3	25.0	18.6	11.6	...
成 男	3,861	1,046	937	900	569	409	5,146
17 (構成比)	21.0	5.7	5.1	4.9	3.1	2.2	...
年 女	14,563	2,725	3,544	3,704	2,859	1,731	16,808
(構成比)	79.0	14.8	19.2	20.1	15.5	9.4	...
65歳以上の単身者数	14,477	3,694	3,865	3,514	2,141	1,263	17,347
平 (構成比)	100.0	25.5	26.7	24.3	14.8	8.7	...
成 男	2,913	905	760	604	352	292	3,799
12 (構成比)	20.1	6.3	5.2	4.2	2.4	2.0	...
年 女	11,564	2,789	3,105	2,910	1,789	971	13,548
(構成比)	79.9	19.3	21.4	20.1	12.4	6.7	...

65歳以上の親族がいる一般世帯(65,821世帯)の家族構造をみると、同居世帯(27,392世帯)(夫婦と子供から成る世帯+男親と子供から成る世帯+女親と子供から成る世帯+非親族世帯+その他の親族世帯)と別居世帯(38,429世帯)(夫婦のみの世帯+単独世帯)との区分では、別居

表5 世帯の家族類型別(16区分)65歳以上親族のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上親族人員

	総数	親族世帯						親族世帯			
		総数	核家族世帯				その他の親族世帯		総数	夫婦と両親から成る世帯	夫婦と片親から成る世帯
			総数	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯				
65歳以上親族のいる一般世帯	65,821	47,265	35,161	20,005	7,622	1,038	6,496	12,104	318	1,881	
世帯人員	151,148	132,456	80,785	40,029	24,316	2,303	14,137	51,671	1,272	5,647	
65歳以上親族人員 (再掲)	91,494	72,938	56,426	35,753	12,871	1,055	6,747	16,512	620	2,510	
75歳以上親族のいる一般世帯	34,145	23,926	15,498	8,427	2,453	588	4,030	8,428	236	1,705	
世帯人員	79,921	69,652	34,647	16,863	7,735	1,308	8,741	35,005	944	5,119	
75歳以上親族人員	41,256	31,037	21,349	12,986	3,732	588	4,043	9,688	418	1,734	
85歳以上親族のいる一般世帯	8,038	5,890	2,914	1,163	348	188	1,215	2,976	80	931	
世帯人員	20,416	18,257	6,484	2,328	1,105	420	2,631	11,773	320	2,796	
85歳以上親族人員	8,451	6,303	3,213	1,394	415	188	1,216	3,090	106	933	

表5 世帯の家族類型別(16区分)65歳以上親族のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上親族人員(続き)

	親族世帯								非親族世帯	単独世帯
	その他の親族世帯									
	夫婦と子供と両親から成る世帯	夫婦と子供と片親から成る世帯	夫婦と他の親族から成る世帯	夫婦と子供と他の親族から成る世帯	夫婦と親と他の親族から成る世帯	夫婦と子供、親と他の親族から成る世帯	兄弟姉妹のみから成る世帯	他に分類されない親族世帯		
65歳以上親族のいる一般世帯	1,358	4,080	394	955	147	543	452	1,976	132	18,424
世帯人員	8,169	19,217	1,271	4,405	684	3,552	969	6,485	268	18,424
65歳以上親族人員 (再掲)	2,580	4,372	793	1,697	238	800	772	2,130	132	18,424
75歳以上親族のいる一般世帯	769	2,990	225	410	126	413	223	1,331	47	10,172
世帯人員	4,560	13,754	724	1,883	583	2,663	475	4,300	97	10,172
75歳以上親族人員	1,267	2,996	339	620	153	484	303	1,374	47	10,172
85歳以上親族のいる一般世帯	151	996	43	70	73	199	39	394	8	2,140
世帯人員	859	4,397	137	320	319	1,291	80	1,254	19	2,140
85歳以上親族人員	196	996	45	87	76	208	44	399	8	2,140

世帯が同居世帯を大きく上回っています。

このことから、65歳以上の親族がいる一般世帯でも核家族的世帯化が進んでいるといえます。

#### 4 母子世帯・父子世帯（表4参照）

母子世帯は3,461世帯で、父子世帯は326世帯となっています。

母子世帯を6歳未満親族のいる世帯でみると714世帯(20.6%)、18歳未満親族のいる世帯でみると3,183世帯(92.0%)となっています。前回調査と比べると、構成比はそれぞれ1.7ポイント、1.4ポイント増加しています。

#### 5 配偶関係

概要（表6、図4参照）

平成17年調査の15歳以上人口を配偶関係別にみると、男性は未婚が51,533人(29.8%)、有配偶107,500人(62.1%)、死別5,366人(3.1%)、離別7,036人(4.1%)となっています。

一方、女性は未婚が54,330人(25.8%)、有配偶108,135人(51.4%)、死別32,283人(15.3%)、離別14,063人(6.7%)となっており、死別及び離別は女性の方が際立って多くなっています。

前回調査と構成比を比較すると、男性は未婚が0.5ポイント、有配偶

表4 母子世帯・父子世帯

	一般 世帯数	一般 世帯人員	1世帯 当たりの 人員	(再掲) 6歳未満親族のいる一般世帯			(再掲) 18歳未満親族のいる一般世帯			
				世帯数	世帯人員	6歳未満 親族人員	世帯数	世帯人員	18歳未満 親族人員	
平成17年	母子世帯 (構成比)	3,461 100.0	9,090 100.0	2.63 -	714 20.6	1,979 21.8	835 9.2	3,183 92.0	8,520 93.7	5,021 55.2
平成17年	父子世帯 (構成比)	326 100.0	833 100.0	2.56 -	30 9.2	86 10.3	37 4.4	288 88.3	757 90.9	442 53.1
平成12年	母子世帯 (構成比)	3,042 100.0	8,001 100.0	2.63 -	574 18.9	1,568 19.6	681 8.5	2,757 90.6	7,417 92.7	4,394 54.9
平成12年	父子世帯 (構成比)	304 100.0	801 100.0	2.63 -	34 11.2	99 12.4	36 4.5	264 86.8	719 89.8	422 52.7

が1.1ポイントの減少、死別が0.3ポイント、離別が0.9ポイントの増加となっています。女性は未婚が0.7ポイント、有配偶が1.6ポイントの減少、死別及び離別はそれぞれ0.9ポイント、1.0ポイントの増加となっています。男女とも未婚・有配偶の減少に対して、死別・離別は増加しています。

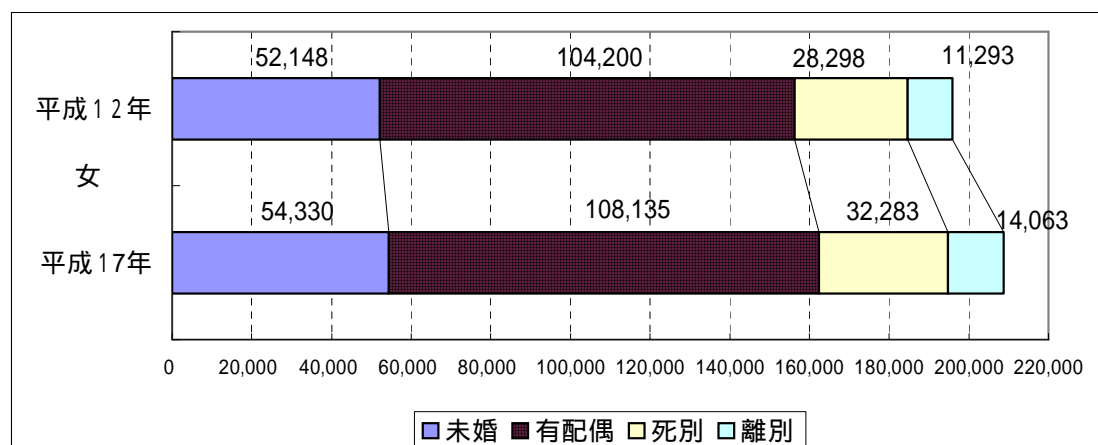
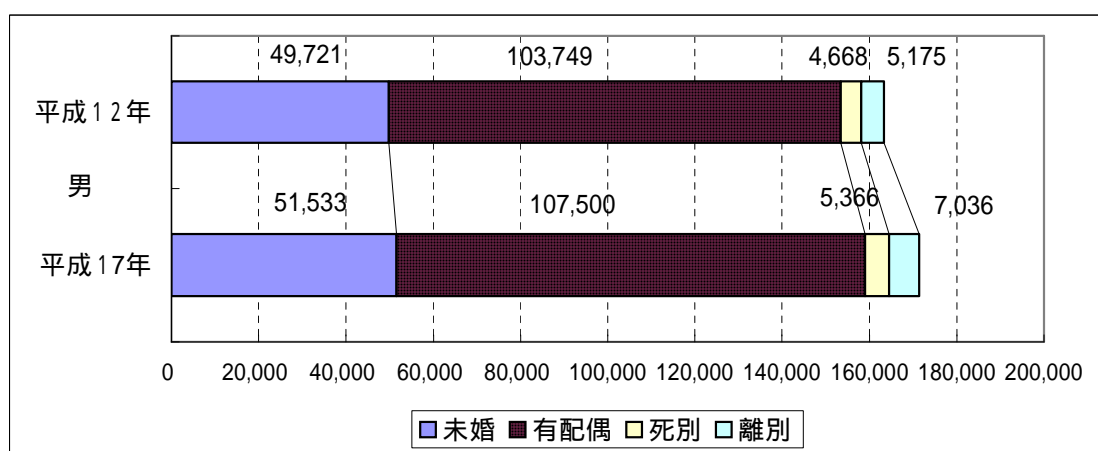
#### 年齢5歳階級別配偶関係（表6参照）

年齢5歳階級別にみると、男女とも未婚者は25歳を過ぎると急激に減少していますが、60歳以上では過去3回の調査を含め、女性の未婚者が男性を大きく上回っており、増加傾向にあることがうかがえます。

次に有配偶ですが、男性の方が635人少なくなっています。これは、おおむね仕事による男性の市外への単身赴任が原因とも考えられます。

死別については、40～45歳ぐらいから女性の方が増え55歳からは圧倒的に女性が多くなっています。これは女性の平均寿命の長さが現れていると考えられます。

図4 男女別15歳以上配偶関係構成



離別では各階級とも女性の方が上回っています。特に35～64歳では各階級とも女性は1,000人以上の離別者がいます。

過去の調査との比較について（表6、図5・6参照）

配偶関係について長崎市の人口のピーク期である20年前の昭和60年との比較を行ってみることにします。

### ア 未婚・有配偶

年齢5歳階級別にポイント数の変化の大きい階級をみると、男性は30～34歳で未婚が17.8ポイント増加、有配偶が18.4ポイントの減少、女性は未婚19.9ポイントの増加、有配偶21.2ポイントの減少、35～39歳で男性は未婚が17.6ポイント増加、有配偶が21.1ポイントの減少、女性は未婚12.9ポイントの増加、有配偶15.9ポイントの減少、40～44歳で男性は未婚が15.5ポイント増加、有配偶が19.0ポイントの減少、女性は未婚10.2ポイントの増加、有配偶12.6ポイントの減少となっています。

図5 配偶関係別割合の推移

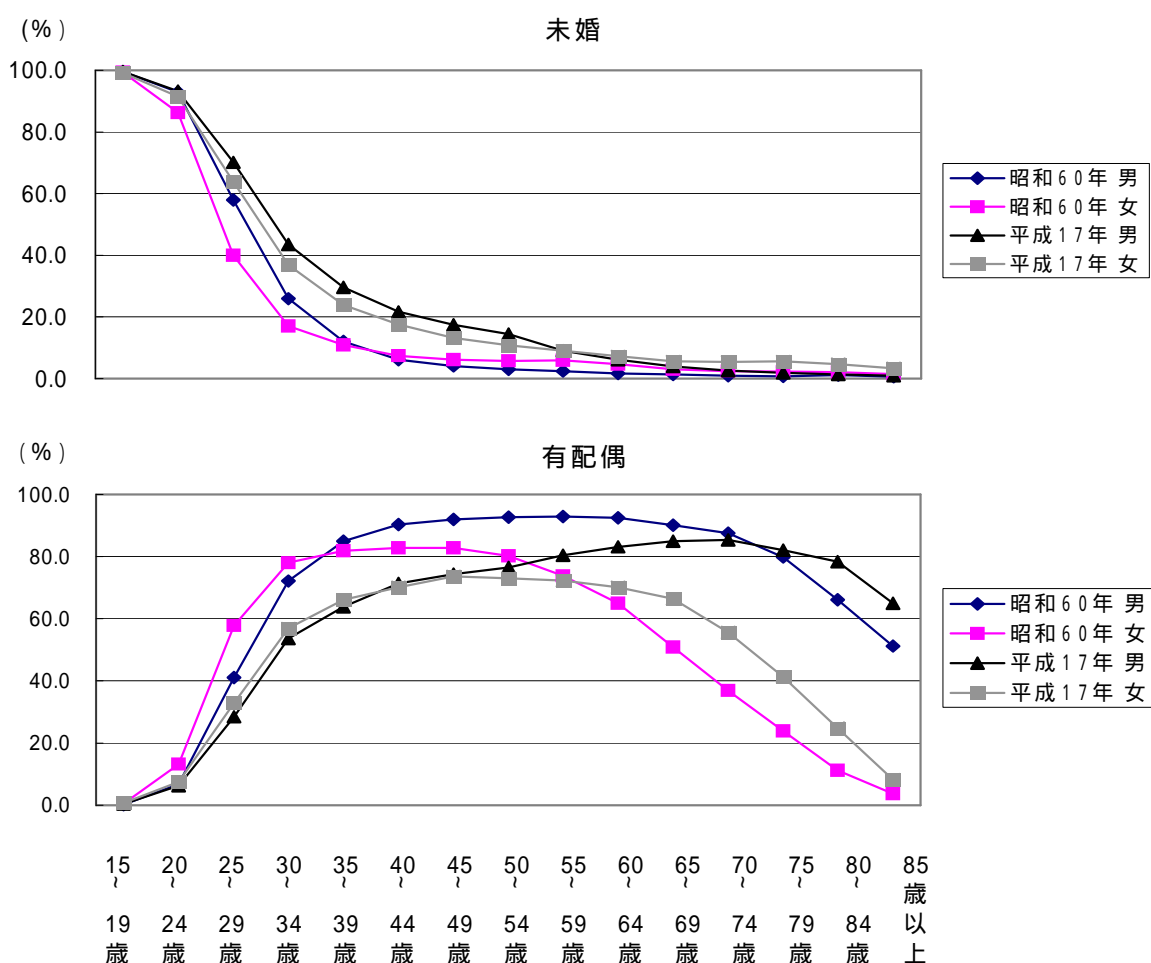




表6 配偶関係(4区分)、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口 平成17年国勢調査(男)

年齢 (5歳階級別)	総数	総数(男)		未婚		有配偶		死別		離別	
		人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数 (15歳以上)	383,526	173,194	100.0	51,533	29.8	107,500	62.1	5,366	3.1	7,036	4.1
15～19歳	24,843	12,338	100.0	12,296	99.7	41	0.3	-	-	1	0.0
20～24歳	25,508	11,833	100.0	11,051	93.4	741	6.3	-	-	41	0.3
25～29歳	24,076	11,271	100.0	7,915	70.2	3,197	28.4	5	0.0	154	1.4
30～34歳	28,269	13,259	100.0	5,779	43.6	7,115	53.7	9	0.1	354	2.7
35～39歳	26,010	12,086	100.0	3,576	29.6	7,724	63.9	18	0.1	507	4.2
40～44歳	27,137	12,611	100.0	2,739	21.7	8,993	71.3	35	0.3	642	5.1
45～49歳	29,264	13,891	100.0	2,425	17.5	10,334	74.4	75	0.5	857	6.2
50～54歳	34,857	16,733	100.0	2,408	14.4	12,806	76.5	180	1.1	1,105	6.6
55～59歳	36,108	17,305	100.0	1,584	9.2	13,900	80.3	330	1.9	1,269	7.3
60～64歳	27,420	12,486	100.0	760	6.1	10,389	83.2	396	3.2	783	6.3
65～69歳	26,480	11,689	100.0	454	3.9	9,936	85.0	570	4.9	597	5.1
70～74歳	25,483	10,828	100.0	287	2.7	9,231	85.3	803	7.4	397	3.7
75～79歳	21,276	8,585	100.0	166	1.9	7,042	82.0	1,045	12.2	208	2.4
80～84歳	14,677	5,056	100.0	62	1.2	3,957	78.3	902	17.8	81	1.6
85歳以上	12,118	3,223	100.0	31	1.0	2,094	65.0	998	31.0	40	1.2

注) 総数には不詳を含む

平成17年国勢調査(女)

年齢 (5歳階級別)	総数(女)		未婚		有配偶		死別		離別	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数 (15歳以上)	210,332	100.0	54,330	25.8	108,135	51.4	32,283	15.3	14,063	6.7
15～19歳	12,505	100.0	12,411	99.2	87	0.7	-	-	7	0.1
20～24歳	13,675	100.0	12,515	91.5	1,031	7.5	2	0.0	123	0.9
25～29歳	12,805	100.0	8,170	63.8	4,203	32.8	9	0.1	418	3.3
30～34歳	15,010	100.0	5,540	36.9	8,525	56.8	43	0.3	890	5.9
35～39歳	13,924	100.0	3,314	23.8	9,189	66.0	72	0.5	1,197	8.6
40～44歳	14,526	100.0	2,563	17.6	10,181	70.1	145	1.0	1,505	10.4
45～49歳	15,373	100.0	2,035	13.2	11,310	73.6	322	2.1	1,585	10.3
50～54歳	18,124	100.0	1,933	10.7	13,235	73.0	698	3.9	2,107	11.6
55～59歳	18,803	100.0	1,716	9.1	13,597	72.3	1,281	6.8	2,034	10.8
60～64歳	14,934	100.0	1,089	7.3	10,460	70.0	1,899	12.7	1,339	9.0
65～69歳	14,791	100.0	822	5.6	9,811	66.3	3,072	20.8	964	6.5
70～74歳	14,655	100.0	780	5.3	8,147	55.6	4,896	33.4	708	4.8
75～79歳	12,691	100.0	714	5.6	5,242	41.3	5,998	47.3	602	4.7
80～84歳	9,621	100.0	439	4.6	2,389	24.8	6,306	65.5	365	3.8
85歳以上	8,895	100.0	289	3.2	728	8.2	7,540	84.8	219	2.5

表6 配偶関係(4区分)、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口 平成12年国勢調査(男)

年齢 (5歳階級別)	総数	総数(男)		未婚		有配偶		死別		離別	
		人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数 (15歳以上)	360,694	164,141	100.0	49,721	30.3	103,749	63.2	4,668	2.8	5,175	3.2
15～19歳	27,404	13,610	100.0	13,553	99.6	54	0.4	1	0.0	1	0.0
20～24歳	26,871	12,615	100.0	11,693	92.7	887	7.0	3	0.0	28	0.2
25～29歳	28,064	13,221	100.0	8,908	67.4	4,163	31.5	6	0.0	140	1.1
30～34歳	25,217	11,678	100.0	4,761	40.8	6,657	57.0	8	0.1	249	2.1
35～39歳	26,052	12,114	100.0	2,991	24.7	8,622	71.2	19	0.2	400	3.3
40～44歳	27,674	13,079	100.0	2,370	18.1	10,104	77.3	30	0.2	515	3.9
45～49歳	33,120	15,919	100.0	2,244	14.1	12,671	79.6	109	0.7	823	5.2
50～54歳	34,285	16,486	100.0	1,497	9.1	13,708	83.1	195	1.2	966	5.9
55～59歳	26,129	11,975	100.0	672	5.6	10,292	85.9	270	2.3	671	5.6
60～64歳	25,398	11,425	100.0	426	3.7	9,950	87.1	418	3.7	543	4.8
65～69歳	25,159	11,070	100.0	284	2.6	9,623	86.9	647	5.8	429	3.9
70～74歳	21,688	9,217	100.0	196	2.1	7,922	85.9	798	8.7	219	2.4
75～79歳	16,040	6,131	100.0	71	1.2	5,100	83.2	757	12.3	122	2.0
80～84歳	9,646	3,348	100.0	27	0.8	2,581	77.1	658	19.7	43	1.3
85歳以上	7,947	2,253	100.0	28	1.2	1,415	62.8	749	33.2	26	1.2

注) 総数には不詳を含む

平成12年国勢調査(女)

年齢 (5歳階級別)	総数(女)		未婚		有配偶		死別		離別	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数 (15歳以上)	196,553	100.0	52,148	26.5	104,200	53.0	28,298	14.4	11,293	5.7
15～19歳	13,794	100.0	13,718	99.4	70	0.5	-	-	6	0.0
20～24歳	14,256	100.0	12,919	90.6	1,228	8.6	7	0.0	99	0.7
25～29歳	14,843	100.0	8,795	59.3	5,618	37.8	18	0.1	407	2.7
30～34歳	13,539	100.0	4,336	32.0	8,468	62.5	37	0.3	693	5.1
35～39歳	13,938	100.0	2,820	20.2	10,022	71.9	61	0.4	992	7.1
40～44歳	14,595	100.0	1,950	13.4	11,223	76.9	187	1.3	1,198	8.2
45～49歳	17,201	100.0	1,908	11.1	13,026	75.7	437	2.5	1,775	10.3
50～54歳	17,799	100.0	1,631	9.2	13,423	75.4	820	4.6	1,873	10.5
55～59歳	14,154	100.0	1,035	7.3	10,478	74.0	1,309	9.2	1,280	9.0
60～64歳	13,973	100.0	801	5.7	10,065	72.0	2,150	15.4	908	6.5
65～69歳	14,089	100.0	767	5.4	9,012	64.0	3,559	25.3	682	4.8
70～74歳	12,471	100.0	669	5.4	6,458	51.8	4,633	37.2	643	5.2
75～79歳	9,909	100.0	472	4.8	3,535	35.7	5,423	54.7	416	4.2
80～84歳	6,298	100.0	185	2.9	1,205	19.1	4,656	73.9	201	3.2
85歳以上	5,694	100.0	142	2.5	369	6.5	5,001	87.8	120	2.1

表6 配偶関係(4区分)、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口 昭和60年国勢調査(男)

年齢 (5歳階級別)	総数	総数(男)		未婚		有配偶		死別		離別	
		人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数 (15歳以上)	352,400	161,704	100.0	47,740	29.5	107,235	66.3	3,587	2.2	2,998	1.9
15～19歳	34,926	17,083	100.0	17,025	99.7	38	0.2	-	-	-	-
20～24歳	31,417	14,012	100.0	13,017	92.9	944	6.7	1	0.0	15	0.1
25～29歳	31,413	14,674	100.0	8,517	58.0	6,028	41.1	3	0.0	106	0.7
30～34歳	36,512	17,693	100.0	4,571	25.8	12,752	72.1	16	0.1	333	1.9
35～39歳	37,704	18,274	100.0	2,190	12.0	15,529	85.0	42	0.2	495	2.7
40～44歳	29,012	13,612	100.0	842	6.2	12,293	90.3	52	0.4	420	3.1
45～49歳	28,261	13,000	100.0	536	4.1	11,943	91.9	109	0.8	405	3.1
50～54歳	28,803	13,269	100.0	400	3.0	12,299	92.7	178	1.3	390	2.9
55～59歳	26,627	12,261	100.0	290	2.4	11,385	92.9	276	2.3	305	2.5
60～64歳	21,712	9,279	100.0	157	1.7	8,574	92.4	341	3.7	202	2.2
65～69歳	16,185	6,826	100.0	92	1.3	6,152	90.1	444	6.5	135	2.0
70～74歳	12,801	5,434	100.0	52	1.0	4,759	87.6	527	9.7	94	1.7
75～79歳	9,098	3,674	100.0	27	0.7	2,935	79.9	653	17.8	59	1.6
80～84歳	5,117	1,792	100.0	19	1.1	1,184	66.1	563	31.4	25	1.4
85歳以上	2,812	821	100.0	5	0.6	420	51.2	382	46.5	14	1.7

注) 総数には不詳を含む

昭和60年国勢調査(女)

年齢 (5歳階級別)	総数(女)		未婚		有配偶		死別		離別	
	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比	人員	構成比
総数 (15歳以上)	190,696	100.0	49,823	26.1	108,330	56.8	24,719	13.0	7,684	4.0
15～19歳	17,843	100.0	17,733	99.4	85	0.5	-	-	3	0.0
20～24歳	17,405	100.0	15,008	86.2	2,290	13.2	3	0.0	85	0.5
25～29歳	16,739	100.0	6,695	40.0	9,679	57.8	23	0.1	335	2.0
30～34歳	18,819	100.0	3,202	17.0	14,682	78.0	88	0.5	841	4.5
35～39歳	19,430	100.0	2,117	10.9	15,909	81.9	219	1.1	1,174	6.0
40～44歳	15,400	100.0	1,140	7.4	12,732	82.7	413	2.7	1,112	7.2
45～49歳	15,261	100.0	924	6.1	12,625	82.7	762	5.0	947	6.2
50～54歳	15,534	100.0	884	5.7	12,448	80.1	1,376	8.9	816	5.3
55～59歳	14,366	100.0	859	6.0	10,599	73.8	2,072	14.4	829	5.8
60～64歳	12,433	100.0	583	4.7	8,074	64.9	3,102	24.9	661	5.3
65～69歳	9,359	100.0	283	3.0	4,757	50.8	3,904	41.7	403	4.3
70～74歳	7,367	100.0	175	2.4	2,713	36.8	4,224	57.3	250	3.4
75～79歳	5,424	100.0	119	2.2	1,294	23.9	3,872	71.4	127	2.3
80～84歳	3,325	100.0	70	2.1	370	11.1	2,813	84.6	65	2.0
85歳以上	1,991	100.0	31	1.6	73	3.7	1,848	92.8	36	1.8

以上のように男女とも未婚者の増加、晩婚化が進行していることがうかがえます。

特に25～29歳の女性でこの傾向が著しくなっています。これは近年の女性の職場進出、高学歴化、結婚に対する意識の変化等に影響を受けているものと思われます。また、未婚率の上昇は出生率の連続的低下を招いていると考えられます。

長崎市の合計特殊出生率(母の年齢別出生率の15歳から49歳までの合計)は昭和60年では1.59でしたが、平成17年には1.17となっており、年々減少する傾向にあります。この原因として、有配偶率の低下の影響が大きいと考えられ、特に年齢階級25～29歳において32.8%しか結婚していなければ、合計特殊出生率が低下しても当然といえるでしょう。

出生率の低下は年少人口の低下を招き、年少人口の低下はいずれ生産年齢人口の低下を招きます。これと同時に高齢化社会がますます進展するため、必然的に高齢者を支える生産年齢人口の負担がより大きくなります。出生率の低下と高齢化社会の進行は、今後様々な問題を各方面に投げかけていくものと思われます。

#### イ 死別

死別については総数で見ると増加していますが、各年齢階級別の構成比で見ると一貫して減少しています。特に変化の著しい階級をみると、女性では75～79歳で24.1ポイント、70～74歳23.9ポイント、65～69歳20.9ポイントの減少となっています。男性では女性よりやや高齢で85歳以上が15.5ポイント、80～84歳13.6ポイント、75～79歳5.6ポイントの減少となっています。

これは男女とも平均寿命がのびているためであると思われます。

#### ウ 離別

離別については調査ごとに増加しており、男性では45～69歳ぐらいいまで昭和60年と比較すると、3～5ポイント前後の伸びを示しています。女性では特に45～59歳で4～6ポイント前後の伸びを示しています。

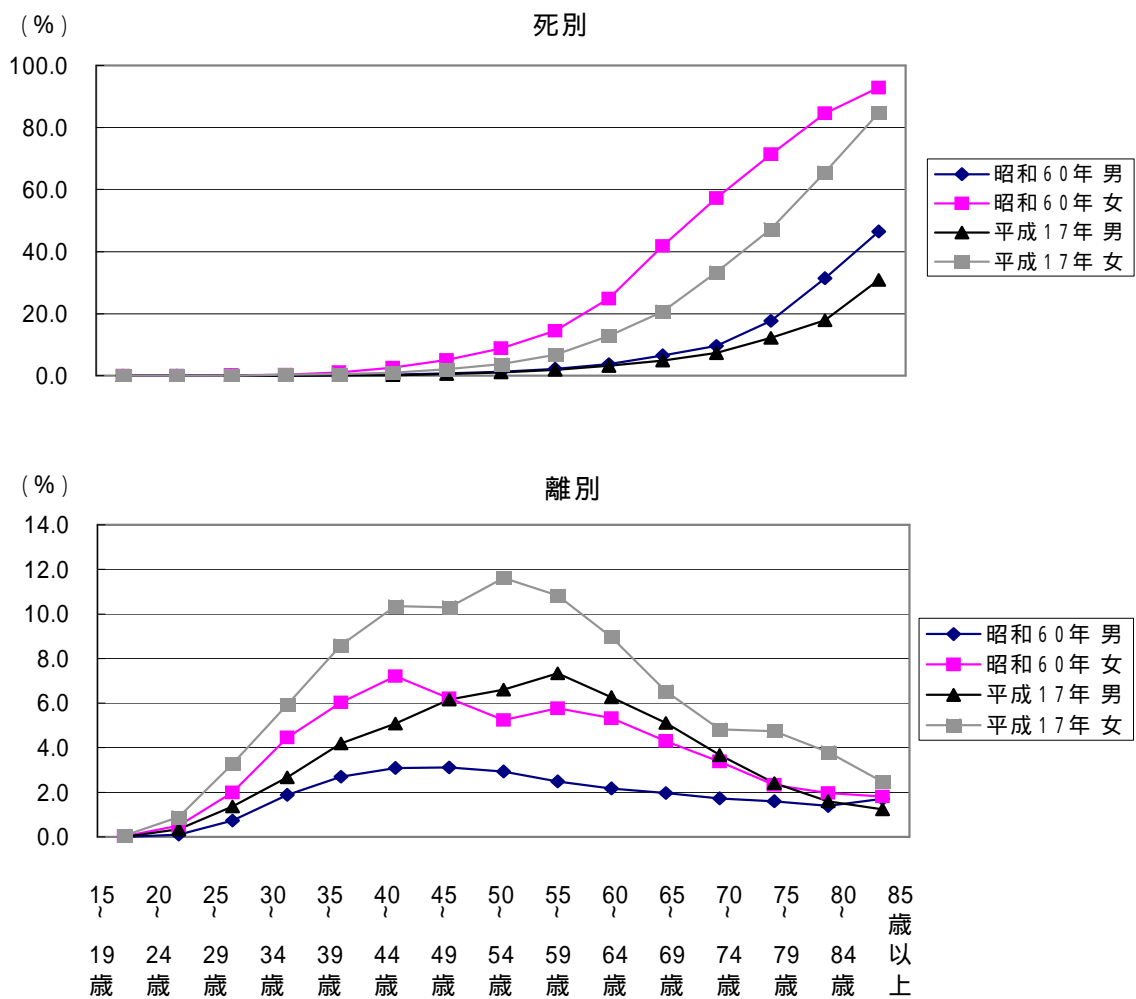
## 6 住居

### 住宅の所有関係（表7、図7参照）

住宅に住む一般世帯数は176,669世帯でこれを住宅の所有関係別にみると、持ち家に住む世帯101,112世帯(57.2%)、公営・公団・公社の借家に住む世帯15,440世帯(8.7%)、民営の借家に住む世帯52,165世帯(29.5%)、給与住宅に住む世帯6,111世帯(3.5%)、間借り1,841世帯(1.0%)となっています。

前回調査と比較すると、持ち家10,857世帯（対前回増減率12.0%）、公営・公団・公社の借家に住む世帯1,528世帯（同11.0%）、民営の借家に住む世帯2,967世帯（同6.0%）の増加となっている反面、給与住宅に住む世帯890世帯（同 12.7%）、間借り153世帯（同 7.7%）の減少となっています。

図6 配偶関係別割合の推移



構成比の変化をみると、持ち家1.6ポイント、公営・公団・公社の借家に住む世帯0.1ポイントの増加となっている反面、民営の借家に住む世帯0.8ポイント、給与住宅に住む世帯0.8ポイント、間借り0.2ポイントの減少となっています。

主世帯(住宅に住む一般世帯のうち間借り以外の世帯)の1世帯当たりの延面積は81.0m<sup>2</sup>となっています。これを延面積の多い順にみると、持ち家105.7m<sup>2</sup>、給与住宅61.4m<sup>2</sup>、公営・公団・公社の借家56.9m<sup>2</sup>、民営の借家42.4m<sup>2</sup>となっています。

#### 住宅の建て方(表8、図8参照)

住宅の建て方別に主世帯数をみると、一戸建て95,486世帯(54.6%)、長屋建て5,387世帯(3.1%)、共同住宅73,721世帯(42.2%)、その他34世帯(0.1%)となっています。さらに共同住宅の階層別にみると1・2階建て20,551世帯(11.8%)、3～5階建て32,288世帯(18.5%)、6階建て以上20,882世帯(11.9%)となっています。

共同住宅の世帯が住んでいる階でみると、1・2階37,738世帯(21.6%)、3～5階26,515世帯(15.2%)、6階以上9,468世帯(5.4%)となっています。

前回調査と比較すると、一戸建て8,032世帯(対前回増減率9.2%)、共同住宅7,093世帯(同10.6%)の増加となっていますが、長屋建ては187世帯(同 3.4%)の減少となっています。さらに共同住宅の階層別にみると1・2階建て372世帯(対前回増減率1.8%)、3～5階建て866世帯(

表7 住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数、一般世帯人員、1世帯当たりの延面積(m<sup>2</sup>)

	世帯数		世帯人員		1世帯 当たり 人員	1世帯 当たり 延面積	1人 当たり 延面積
		構成比		構成比			
一般世帯	179,030		429,845		2.40	-	-
住宅に住む一般世帯	176,669	100.0	427,288	100.0	2.42	80.6	33.3
主世帯	174,828	99.0	423,209	99.0	2.42	81.0	33.5
持ち家	101,112	57.2	270,012	63.2	2.67	105.7	39.6
公営・公団・公社の借家	15,440	8.7	40,477	9.5	2.62	56.9	21.7
民営の借家	52,165	29.5	97,438	22.8	1.87	42.4	22.7
給与住宅	6,111	3.5	15,282	3.6	2.50	61.4	24.5
間借り	1,841	1.0	4,079	1.0	2.22	42.5	19.2
住宅以外に住む一般世帯	2,361		2,557		1.08	-	-

同2.8%)、6階建て以上は5,855世帯(同39.0%)等の増加となっています。

一戸建ての世帯数も増加していますが、特に共同住宅の増加、その中でも6階建て以上の伸びが著しくなっています。これは、長崎市独特の平坦地が少ないという地形によることと、人口規模の大きい都市として住宅の中高層化が進んでいることが原因としてあげられます。市街地で一戸建て住宅を新築することは一般にはかなりの家計負担となるため、一戸建てとなれば市周辺部や近隣市町に求めざるを得ないのが実情であり、市街地にということであればやはり中高層の共同住宅(持ち家・借家を含む)に住むというパターンになると思われます。

また最近では、高齢者が生活に便利な中心部のマンション等に移り住むケースも増えてきており、高齢化の進行に伴い中高層共同住宅の需要が増えていることも考えられます。

表 住宅の建て別(住宅に含む)一般世帯数 一般世帯人員 1世帯当たりの延面積㎡

	総数	一戸建て	長屋建て	共同住宅											その他
				総数	建物全体の階数					世帯が住んでいる階					
					1・2階建て	3～5階建て	6～10階建て	11～14階建て	15階以上	1・2階	3～5階	6～10階	11～14階	15階以上	
一般世帯数	176,669	96,949	5,427	74,051	20,636	32,462	12,850	5,613	2,490	37,907	26,664	7,550	1,722	208	242
主世帯	174,828	95,486	5,387	73,721	20,551	32,288	12,795	5,601	2,486	37,738	26,515	7,541	1,720	207	234
間借	1,841	1,463	40	330	85	174	55	12	4	169	149	9	2	1	8
一般世帯人員	427,288	260,282	11,943	154,406	35,204	70,377	27,504	14,423	6,898	73,282	58,562	17,553	4,461	548	657
主世帯	423,209	256,710	11,865	153,991	35,100	70,159	27,439	14,399	6,894	73,063	58,380	17,543	4,458	547	643
間借	4,079	3,572	78	415	104	218	65	24	4	219	182	10	3	1	14
1世帯当たりの人員	2.42	2.68	2.20	2.09	1.71	2.17	2.14	2.57	2.77	1.93	2.20	2.32	2.59	2.63	2.71
主世帯	2.42	2.69	2.20	2.09	1.71	2.17	2.14	2.57	2.77	1.94	2.20	2.33	2.59	2.64	2.75
間借	2.22	2.44	1.95	1.26	1.22	1.25	1.18	2.00	1.00	1.30	1.22	1.11	1.50	1.00	1.75
1世帯当たりの延面積	80.6	105.8	56.5	49.3	36.1	48.4	56.4	71.7	82.3	42.8	51.8	65.4	77.1	85.3	99.6
主世帯	81.0	106.7	56.7	49.4	36.1	48.6	56.5	71.7	82.4	42.9	51.9	65.5	77.2	85.7	101.6
間借	42.5	47.5	27.7	22.0	22.5	20.0	24.1	37.3	19.0	23.7	19.7	26.5	23.5	18.0	39.2
1人当たりの延面積	33.3	39.4	25.7	23.6	21.1	22.3	26.3	27.9	29.7	22.2	23.6	28.2	29.8	32.4	36.7
主世帯	33.5	39.7	25.7	23.6	21.1	22.4	26.4	27.9	29.7	22.2	23.6	28.2	29.8	32.4	37.0
間借	19.2	19.5	14.2	17.5	18.4	16.0	20.4	18.6	19.0	18.3	16.1	23.9	15.7	18.0	22.4

1世帯当たりの延面積を多い順に主世帯をみると、一戸建て106.7㎡、共同住宅15階建て以上82.4㎡、共同住宅11～14階建て71.7㎡、長屋建て56.7㎡、共同住宅6～10階建て56.5㎡、共同住宅3～5階建て48.6㎡、共同住宅1・2階建て36.1㎡となっており、一戸建てが他の建て方よりもかなり大きくなっています。

図7 住宅の所有関係別、住宅に住む一般世帯の推移

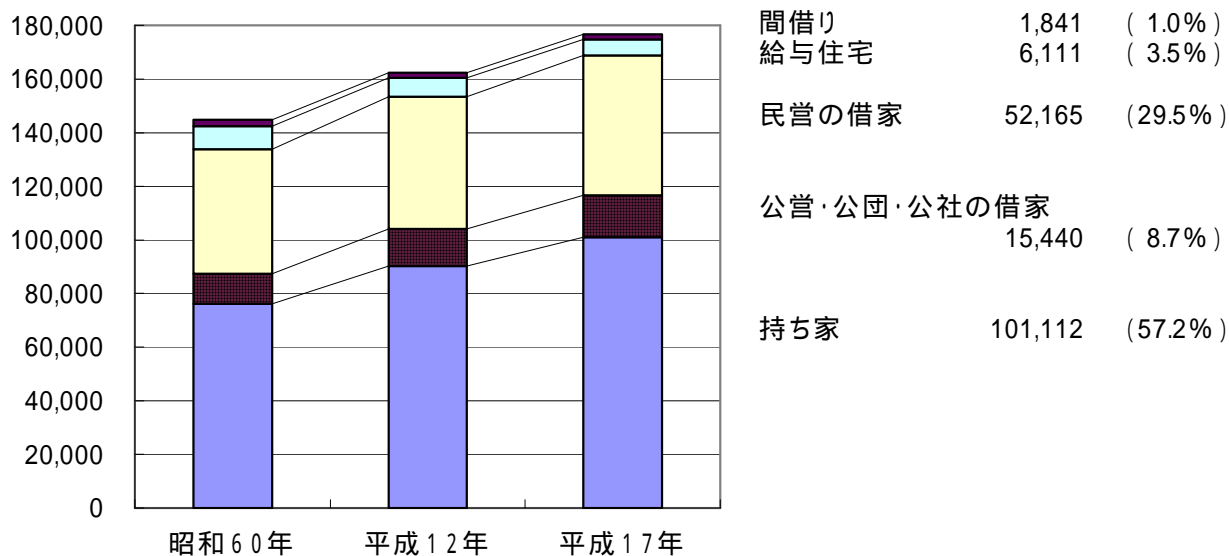


図8 住宅の建て方別主世帯数の推移

